ムーンショット型研究開発事業

ムーンショット目標８　課題推進者公募

提案書（記入要領）

【様式1】　研究開発課題概要

【様式2】　研究開発課題提案

【様式3】　用語の説明

【様式4】　研究開発課題の予算計画

【様式5】　利益相反に関する情報

【様式6】　研究費の応募・受入等の状況・エフォート

*【提案書記入にあたっての注意事項】*

* 各様式のページ数は、各様式に指定されたページを超過しないでください。
* 本文のフォントサイズは【10ポイント以上】を厳守してください。
* 【様式2】～【様式3】は、必要に応じ、図表を用いても構いません。
* **青字の記入要領は、提出時に削除してください。**
* **本紙（記入要領表紙）は、提出時には削除ください。**
* ファイルの容量は5MB以内で作成ください。
* 締切後の書類の修正は、一切認めません。

上記の注意事項が守れていない提案者は、原則として、提案書の不受理、ないし、不採択とします。

ムーンショット型研究開発事業　ムーンショット目標8

課題推進者公募　提案書

**【様式１】研究開発課題概要**

|  |
| --- |
| 提案する研究開発課題名（20文字程度） |
| *提案する研究開発課題名を記入してください。* |
| 提案する研究開発課題の概要（400字以内） |
| *提案する研究開発課題の概要をご記載ください。（句読点を含め、****400 字以内****）* |
| キーワード |
| *提案する研究開発プロジェクトの特徴を表すキーワードを挙げてください（5つ以内）* |
| 希望する研究開発費（2023年9月～2025年3月までの合計） |
| *●●●*千円　　*※ 様式4の金額と一致させてください* |
| 提案者（課題推進者）に関する情報 |
| （フリガナ）氏名： |
| 所属機関・役職： |
| 国籍／性別： | 生年月日（西暦）： |
| 研究者番号：*府省共通研究開発管理システム(e-Rad)より付与された 8桁の研究者番号（取得していな**い場合は、なし、と記載し、採択され研究開発が開始されるまでに取得して下さい。）* |
| researchmap等の情報：*URL：**著者ID：**※提案者の情報を収載しているホームページ（研究室ホームページ、researchmapページ等）があればURLを、またORCID IDやWeb of Science のResearcher ID、SCOPUSの著者IDをご存知の方は、当該IDをご記載ください。* |
| 本人連絡先：住所：〒　　　電話番号： |
| 提案者の学歴及び職歴 |
| ・学歴（大学卒業以降）*記入例）**○○◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業**○○◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了**○○◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了**○○◯◯年 博士（◯◯学）（◯◯大学） 取得*・職歴*記入例）**○○◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯開発部（◯◯◯◯について開発）**○○◯◯年～◯◯年 ◯◯大学特任准教授（◯◯◯◯に関する研究に従事）**○○◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯事業部（◯◯◯◯事業担当）* |
| 研究参加者に関する情報 |
| *提案者以外に、研究開発課題を分担する主要な研究参加者がいれば、その氏名と所属・役職、分担内容（句読点を含め、80字以内）をご記入ください。研究参加者がいなければ、「なし」と記載してください。**（記入例）**研究参加者１：氏名、所属・役職、分担内容（句読点を含め、80字以内）**研究参加者２：氏名、所属・役職、分担内容（句読点を含め、80字以内）* |

***※ 様式2は、適宜図表(カラー可)を用いて5ページ以内でご説明ください。***

***記入要領に沿っていれば5ページより少なくなっても構いません。***

**【様式２】研究開発課題提案**

公募要領「2.2 募集する研究開発課題」および公募要領別紙２「課題推進者公募におけるPDの方針」に記載の募集内容も踏まえ、以下を記載してください。

**１．操作手法の概要**

*本欄には、以下の内容を記載してください。なお、これまで気象分野で試されてこなかった研究開発については、十分な記述ができない場合もあると想定しています。新奇のアイデアや他分野で発展してきた技術については、提案段階で調査検討している点を含め、可能な限り記述してください。*

*まず、提案時点における以下の内容について記載してください*

* *提案する操作手法の対象や操作の目的（例：上空の水蒸気を減らす、海面の温度を下げる等）*
* *提案する操作手法の概要（理論的な根拠や新奇性・挑戦性、現状の成熟度や課題等を含む）*

*また、研究開発期間（最長1.5年）以降について以下の内容を記載してください。*

* *提案する操作手法の将来性（工学的実現性やスケーラビリティ、費用対効果の目論見等を含む）*

*なお、既に気象分野で活用されている操作手法も公募の対象としますが、その場合は競合する研究開発等に対する優位性や、研究開発期間（1.5年間）で解くべき挑戦的な課題を、現状の知見とともに、上記に加えて明示的に記載してください。*

*また、その操作手法の利用自体に、倫理的・法的・社会的課題（ELSI）について考慮すべき点がある場合、本欄に記載するとともに、現状の見解を記載してください。*

**２．研究開発期間終了時における達成目標**

*本欄には、以下の内容を記載してください。*

*なお、実際の達成目標は、PMとの合意をもって確定しますので、提案書に記載したことを以て、達成目標を確約するものではありません。*

* *研究開発期間終了時に達成を目指す目標（可能な限り定量的であることが望ましいですが、科学技術的な成熟度が低いなどの理由で定性的にしか記載できない場合は、それでも構いません。）*
* *上記目標の達成を目指すことができると考える根拠（現状の研究・検討進度や理論的根拠等）*

**３．研究開発の内容**

*２．で述べた目標の達成に向けて、提案する具体的な研究開発計画を、可能な限り詳細に説明してください。その際、スケジュールの目安や、各研究の段階で必要になる設備があれば、その目的とともに、記載してください*

*なお、実際の研究開発内容は、PMとの合意をもって確定しますので、提案書に記載したことを以て、計画を確約するものではありません。*

**４．研究開発体制について**

*本研究開発課題を実施する研究開発体制について説明してください。その際、提案者以外が研究開発課題を分担する場合は、体制図等を用いて説明してください。*

*そして、提案内容を実施するために十分な研究開発体制だと考える理由を、提案者および、研究開発に参画する主要な研究参加者それぞれについて、関連する査読論文、著書、表彰、特許、招待講演、国際機関での発表等の業績を合計で最大５件まで挙げ、それらの内容に言及しながら、記載して下さい。*

***様式3は、1ページ以内でご説明ください。***

**【様式３】用語の説明**

　さまざまな専門分野の評価者が提案内容を理解するために有用と思われる用語があれば、その説明を記述してください。該当する用語がない場合は、「特になし」と記載して下さい。

*必要に応じて図表(カラー可)も加えて構いません。*

**【様式４】研究開発課題の予算計画**

*実際の研究開発費は、PMとの研究開発計画の合意をもって確定しますので、提案書に記載したことを以て、研究開発費を確約するものではありません。*

（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | R５年度（7ヶ月間） | R６年度 | 合計 |
| 設備備品費 |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |
| その他 |  |  |  |
| 直接経費　計 |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

※ 間接経費の比率は、公募要領「3.3.2間接経費」をご参照ください。

●主要な支出の品目や目的について、説明をして下さい。

*主要な支出品目や目的について、説明してください。*

*短期間の研究開発という面から、高額な設備備品については、既存設備やレンタル等を可能な限り利用していただきますが、購入を希望する場合、その必要性を本欄で説明してください。*

 １．提案者に関係する共同研究機関（提案者の研究開発成果を基に設立した機関等）の有無

**【様式5】利益相反に関する情報**

提案者に関係する機関が　[ ] ある　[ ] ない　*※ どちらかを選択*

「ある」の場合、具体的内容：

*ここで対象とする共同研究機関の定義は以下の通りです。*

*1) 提案者等の研究開発成果を基に設立した機関*

*2) 提案者等が役員（CTOを含み、技術顧問を含まない。）に就任している機関*

*3) 提案者が株式を保有している機関*

*4) 提案者が実施料収入を得ている機関*

**２．提案の参画機関に対するJSTの出資の有無**

提案の参画機関に対するJSTの出資が　[ ] ある　[ ] ない　*※ どちらかを選択*

*公募要領「2.9.2利益相反マネジメントの実施 (3)JSTの利益相反マネジメント」の記載に従い、提案の参画機関がJSTの出資先企業に該当するか否かを記載してください。*

*※JSTの出資先企業については下記ウェブサイトを参照してください。なお、出資を終了した企業は利益相反マネジメントの対象ではないため、申告の必要はありません。*

*https://www.jst.go.jp/entre/result.html#M01*

*※申告の基準日は公募開始日とします。当該日時点でJSTからの出資が公表されている企業について申告してください。出資内定済み等であるが未公表の企業については、JST内部の機密保持のため、申告の必要はありません。*

*JSTの出資公表については下記ウェブサイトを参照してください。*

*https://www.jst.go.jp/entre/news.html*

**【様式6】研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

提案者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等(民間財団からの助成金・企業からの受託研究費・海外機関からの助成金を含む)について、制度名ごとに、課題名、実施期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等をご記入ください。

なお、「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究やマネジメント活動の時間のみならず、営利事業や非営利事業に関する活動・教育・医療活動等を含む)を100％とした場合、そのうち当該業務の実施に予定している時間の配分率（％）をご記載ください。

※ 公募要領「4.2不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

※ 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※ 提案時に申請中・申請予定の研究助成等について、この研究開発課題提案の選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、公募要領の巻末に記載された問い合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

※ 面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

必要に応じて表を追加、削除してください。

（１）応募中の研究費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 2023 年度の経費※1(期間全体の額) | ｴﾌｫｰﾄ(％) | 他の研究費に加えて本事業に応募する理由※2  |
| 【本事業】ムーンショット型研究開発事業 |  | 分担（課題推進者） |  | ○○ |  |
| *科学研究費**補助金**基盤研究(S)**（2023年4月～**2029年3月*） | *××による◇◇の創成**(○○○○)* | *分担* | 100,000千円（総額 *XX.X*億円） | 5 | *○○のため* |

（２）現在受給中（採択され、受け入れ予定の状態のものを含む）の研究費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 2023 年度の経費※1(期間全体の額) | ｴﾌｫｰﾄ(％) | 他の研究費に加えて本事業に応募する理由※2  |
| *JST戦略的創造研究推進事業CREST**2019年10月～2024年3月）* | *××による◇◇の高機能化**(○○○○)* | *分担* | 140,000（総額 *XX.X*億円） | 5 | *△△のため* |

※1 直接経費をご記入ください。※2 本事業以外への応募がない場合には記入不要です。

（３）その他の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 役職 | 活動内容 | ｴﾌｫｰﾄ(％) |
| □□大学 | 教授 | 学務 | 40 |
| 株式会社〇〇 | 取締役（非常勤） | 事業企画、経営企画の審議 | 3 |
| △△株式会社 | 顧問 | 研究開発の指導 | 2 |